

教団新報

定価 1部220円(本体200円+共283円)
予約購読料 1年分 共 3,962円
紙代のみ 3,080円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
FAX03(3207)3918
URL http://uccj.org
発行人 網中彰子
編集主筆 嶋田恵悟
印刷所 株式会社きかんし

教区総会報告

2024年度

1

コロナ後の課題と向き合いながら

北海・大阪・四国

北海

第4次長期宣教計画を延長

第84回北海教区総会が4月29〜30日、札幌北光教会で、開会時正議員119名中96名の出席で行われた。

教区議長総括で原和人議長は、「コロナ」後を見据えて、新たな歩みを模索する1年であったと振り返り、この1年の社会状況について、「暴力と嘘、疑念と言いつ、差別と切り捨て」が日々報道されたとし、「ありのままの存在とその命の尊厳が大切にされること」を願っていると述べた。

「第4次長期宣教計画延長に関する件」では、1984年度から10年毎の長期宣教計画を定めて来た教区において、23年度が最終年となる第4次

第4次長期宣教計画に基づく24年度活動計画案を可決した。伊藤大道宣教部長が、コロナ以前から続く課題はより加



札幌北光教会を会場に

大阪

伝道資金「見直し委員会」の設置を提案

速したことを告げ、悩み、苦しみから生み出される声に耳を傾け、共に歩んで行くべく、第4次長期宣教計画、「礼拝の喜びに生きる神の民々革新・連帯・平和」を現実化して行きたいと述べた。

教団問安使として藤盛勇紀副議長が挨拶した。質疑応答の中で、「機構改定が喫緊の課題という

財務部委員長が負担金4300万円について、礼拝出席者数において復活の兆しが見えるものの経常収入総額は減少が見込まれていることを受けて、23年度の特例額を総額とすると説明した。

第69回大阪教区総会が5月3〜4日に大阪女学院ホールチャペルで正議員271名中、開会時180名が出席して開催された。

冒頭、三役、常置委員の任期を次回総会まで延長することを可決した。コロナ禍で任期を1年延長し、教団総会議員選挙と選挙が重なってしまっ

開会礼拝前に議場から、式次第の中に「日本基督教団信仰告白」が入っていることについて疑義が出された。尾島信之議長は、准允・按手志願者の意見を聞き、総会準備委員会の話し合いを

2024年度予算審議では、コロナ禍前を基準とし、多くの支出項目を増額する一方、第66回教区定期総会にて可決した、3年間の負担金減額措置に基づき580万円減額し、特別資金から520万円を繰り入れる

教団問安使として黒田若雄書記が挨拶した。質疑応答の中で、「常議員選挙の全数連記の改善が

来年以降は議論を深めて行きたいと述べた。

「教団伝道資金制度見直し委員会設置に関する件」では、より円滑に広範に運用されることを志向するために、各教区議長を含めた「制度見直し委員会」の設置を第43回教団総会に提案すること



1名の教師が受按

琉球弧における自衛隊基地化反対声明」を、内外に表明し、第43回教団総会に提案することを可決した。「戦争をできる国にしたい」ということを何となく食いつめた」と等の賛成意見がある一方、「平和のために祈っていると示すのが教会の為すべきこ

(新報編集部報)

四国

互助規則変更を可決

第82回四国教区総会が4月29～30日、高知教会を会場に正議員142名中96名の出席を確認して開催された。

開会礼拝、組織会を経て一日目は、教団総会議員（教職）の選挙を行い、2023年度諸報告を中心に議事が進められた。

常置委員会報告としては、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、2023年度の活動は感染拡大以前の水準まで回復してきたこと、他教区との交流や神学校との対話プログラムの実施などが感謝をもって報告された。また後述の互助規則変更と教区活動検討

については、昨年度より1教会増えた11教会への互助を含む計画がそれぞれに承認された。予定された時間に議事を終了し、閉会礼拝を捧げて御言葉を聞き、あらためて伝道の働きを進めるそれぞれの教会へ遣わされていく思いをもって閉会した。

【教職】寺島謙（松山城東）、松井暁郎（大洲）、大田健悟（鴨島兄弟）、野村義和（香美）、寛牧人（伊予長浜）、成田信義（土佐）、黒田若雄（高知）、木谷誠（今治）

【信徒】長嶋恵子（鴨島兄弟）、須賀香世（高知）、協萬理子（三島真光）、中村証二（善通寺）、中山耕平（土佐）、不動光子（さや）、矢野嗣夫（西条栄光、村上進（香美）（野村義和報）



准允式

能登半島地震報告

輪島教会仮礼拝堂を設置



ユニットハウスで建てた仮礼拝堂

告があります。会堂の隣に駐車スペースがあり、そこに礼拝所他に使用するためユニットハウスを置くことが出来しました。

年金局よりお詫び・訂正
新報5017号6面年金特集No.79、「2023年度『謝恩日献金』明細」欄、東京教区合計金額を833万7220円に、達成率を32％に、参加比率・西南支区を79％、東中国教区を50％に、お詫びして訂正いたします。

能登半島地震救援対策委員会は毎月総幹事室においてリモートも交えて開催しています。3月に教団副議長・書記・総幹事・社会委員長が被災教会を問安しました。葬儀のため同行できなかった雲然俊美議長は4月初めに富来伝道所の宿泊も含め羽昨・七尾・輪島の各教会を問安し、直近の会議ではその報告もなされました。また4月より加藤幹天中部教区議長が委員会に陪席することとなりました。今後引き続き現地の情報収集を地区・教区が行い、教区常置委員会・教区総会で決定した事項を実行に移し

中部教区のホームページに輪島教会の近況報告があります。会堂の隣に駐車スペースがあり、そこに礼拝所他に使用するためユニットハウスを置くことが出来しました。

避難所から信徒宅での礼拝を経て、整備され次第豊かに用いられることでしょう。

むさし小山	19,088	上 星 川	10,000	丸の内②	31,570	喜 界	3,000
安藤記念	33,000	川 崎	50,000	高 槻	10,000	名 瀬	3,000
弓町本郷	10,000	六 角 橋	10,000	天 満	20,000		
銀 座	30,000					沖 縄	110,000
原 宿	20,000	東 海	129,887	兵 庫	21,700	志 真 志	10,000
佐 倉	5,000	坂城栄光	3,000	神戸東部	21,700	沖縄教区	100,000
四 街 道	5,000	松 代	4,187			個 人	65,860
市川三本松	11,500	松本筑摩野	5,000	東中国	5,000	稲松義人	10,000
小 松 川	10,000	諏 訪	20,000	天 城	5,000	河田直子	10,000
世田谷平安	42,000	静岡草深②	50,000			今井牧夫②	20,000
千葉本町	10,000	長野県町	27,000	西中国	18,110	篠浦千史②	11,860
代々木上原	20,000	韭 崎	20,700	岡 山	7,760	藤田紀子	4,000
天 王 台	11,000			小 郡 ②	10,350	福田朋和	5,000
田園調布	5,000	中 部	18,000			木下宣世	5,000
柏	20,000	中 京	10,000	四 国	46,500		
野 田	4,000	愛 北	3,000	さ や	10,000	団 体	33,700
		春 日 井	5,000	宇和島中町	5,000	りすのき保育園	10,000
				高 知	10,000	日本基督教団	23,700
		京 都	52,000	四国教区	9,500	クリスマス礼	
		長 岡	20,000	松山栄光	6,000	拝席上 献金	
		甲 南	29,000	松山城北	6,000		
		洛	3,000				
				九 州	36,000	総計	1,462,023
		大 阪	86,570	福岡女学院	10,000		
		吐 田 郷	20,000	長崎銀屋町	10,000		
		生 駒	5,000	田 川	10,000		
西東京	164,840						
阿佐ヶ谷②	70,000						
永 山	5,000						
国 分 寺	60,000						
西国分寺	10,000						
東 村 山	19,840						
神奈川	140,850						
横浜指路②	70,850						

「東北地方地震被災教会支援募金」 献金報告

2023年4月～ 2024年3月末現在

2021年2月13日と2022年3月16日に「福島県沖地震」、2021年3月20日に「宮城県沖地震」と東日本大震災から10年後、3回も震度6の地震が襲いました。これまでに東北教区10教会と関東教区2教会の再建に17,656,250円を支援しました。

2023年度も1,462,023円をささげていただき、総額15,826,793円となりましたが、諸経費も含めて未だ2,134,967円が満たされていません。（一時的に教団資金より支出しております）能登半島地震への支援も感謝しておりますが、今一度「東北地方地震」を想い起していただき、おささげいただけますようお願いいたします。

北 海	66,000	三 戸	13,000	宇都宮東	5,000
岩 見 沢	10,000	八戸小中野②	20,000	埼玉新生	10,000
西 札 幌	5,000	野 辺 地	3,000	三 芳	3,000
洞 爺 湖	1,000			水 海 道	10,000
札 幌	50,000	東 北	12,000	西川口④	53,226
		福 島	5,000	東 所 沢	30,000
		矢 吹	2,000	武蔵豊岡	5,000
		喜 多 方	5,000	北 本	11,000
奥 羽	72,192				
一 関	8,000				
秋 田 桜	4,000				
水 沢 ③	24,192	関 東	127,226	東 京	255,588

事務局報

菅野正夫(無任所教師)



24 年 2 月 28 日逝去、67 歳。宮城県生まれ。89 年日本聖書神学校卒業、同年より名古屋新生、小石川白山、秦野西、馬見旁、貝塚、生駒、大和榛原教会を牧会。遺族は兄・菅野文夫さん。

飯澤 忠(隠退教師)



24 年 3 月 15 日逝去、92 歳。北海道生まれ。57 年日本聖書神学校卒業、59 年より美唄教会を牧会し、キリスト教視聴覚センター北海道支部、北星学園に務め、代々木教会を経て 00 年隠退。遺族は妻・飯澤弘子さん。

愛澤豊重(隠退教師)



24 年 4 月 2 日逝去、76 歳。東京都生まれ。78 年立教大学大学院修了、同年より宮古、阿佐谷東、立川教会を牧会し、日本基督教団事務局に務め、松沢、横浜菊名教会を経て 22 年隠退。遺族は妻・愛澤操子さん。

宗宮 進(隠退教師)



24 年 3 月 11 日逝去、90 歳。岐阜県生まれ。60 年東京神学大学大学院修了、同年より金城、津山、九十九里教会を牧会し 07 年隠退。遺族は息・宗宮創さん。

名嘉隆一(隠退教師)



24 年 3 月 11 日逝去、86 歳。沖縄県生まれ。59 年農村伝道神学校卒業、同年より沖縄キリスト教団田井等、与勝教会、日本基督教団コサ教会を牧会し、10 年隠退。遺族は妻・名嘉文子さん。

田中和三郎(隠退教師)



24 年 3 月 19 日逝去、83 歳。北海道生まれ。86 年農村伝道神学校卒業、同年より上野、いずみシオノ教会を牧会し、18 年隠退。遺族は妻・田中悦子さん。

中原美子(隠退教師)



24 年 4 月 6 日逝去、86 歳。鹿児島県生まれ。62 年日本聖書神学校卒業、63 年より豊島駒込教会を牧会し、日本基督教団事務局に務め、下関彦島教会を経て 15 年隠退。遺族は姪・秦春美さん。

加藤常昭(隠退教師)



24 年 4 月 26 日逝去、95 歳。旧満州ハルビン生まれ。56 年東京神学大学大学院修了、同年より若草、牛込弘方町、鎌倉雪ノ下教会を牧会し、97 年隠退。遺族は息・加藤純さん。

正教師登録

森下静香

(2022・12・11 受按)

教師異動

秋田 榎山 辞(主)村尾政治

辞(担)村尾いづみ

就(代)田邊由紀夫

小平 辞(主)長谷川洋介

就(主)村尾政治

就(担)村尾いづみ

阿佐ヶ谷 辞(担)李 暁静

豊山 辞(主)大住 元

就(主)李 暁静

飛騨高山 辞(主)大塚信明

就(主)白砂誠一

四街道 辞(主)寒河江健

就(代)岸 憲秀

十日町 辞(主)久保田愛策

就(主)寒河江健

撰津三田 辞(主)奥村益良

就(主)久保田愛策

洲本 辞(主)宮崎達雄

辞(主)筒井昌司

明石 辞(担)伊丹美貴

就(主)石田 求

下館 辞(代)川真田正

就(主)筒井昌司

曾根 辞(担)伊丹美貴

深谷 辞(主)佐藤嘉哉

就(主)法元聖親

桶川 辞(主)高橋悦子

辞(主)清藤 淳

和歌山 辞(代)阿部倫太郎

就(主)北 紀吉

松沢 辞(主)清藤 淳

就(主)長山信夫

安藤記念 辞(主)延藤好英

就(主)山田邦彦

三石 辞(兼主)延藤好英

就(兼主)山田邦彦

前原 辞(主)高山清明

辞(主)宮崎富男

玖珠 辞(主)森 哲

就(代)掛江隆史

柴宿 辞(代)加藤直樹

会津若松 辞(主)福山裕紀子

就(代)片岡謁也

廿日市 辞(代)月下星志

就(主)福山裕紀子

広島観音町 辞(担)上内 恵

甲山 辞(代)塩見和樹

就(主)上内 恵

上下 辞(兼担)上内 恵

就(主)浦上 光

防府 辞(主)浦上 光

就(代)浦上 光

小野田 辞(主)福山隆一

就(代)小畑太作

南三鷹 辞(主)吉岡喜人

辞(担)小田哲郎

就(主)小田哲郎

高井戸 辞(主)七條真明

就(代)岩田昌路

鎌ヶ谷 辞(代)原田裕子

就(主)七條真明

出来島 辞(主)田中悦子

就(主)井口智子

赤間 辞(代)奥園 淳

就(主)奥園 淳

清教学園中学校 辞(代)川俣 茂

廣尾 辞(主)米山恭平

辞(担)米山結実

就(主)川俣 茂

本郷中央 辞(代)岸 憲秀

就(主)米山恭平

中村町 辞(担)米山結実

就(主)小友絹代

福岡警固 辞(主)西岡裕芳

就(代)西八條敬洪

弓町本郷 辞(主)大澤 宣

就(主)西岡裕芳

東神戸 辞(代)春名康範

就(主)大澤 宣

甲陽園 辞(主)確井英俊

就(代)松隈 協

塚口 辞(担)吉川祥平

松山番町 辞(主)宮庄 博

就(代)寺島 謙

阿波池田 辞(主)大田辰夫

辞(担)木村一雄

就(主)木村一雄

高知東 辞(担)益 敏

本牧めぐみ 辞(主)増田志郎

辞(担)小倉仁史

就(主)小倉仁史

片瀬 辞(主)西田直樹

就(主)菊地一男

青山学院横浜英和中学高 校 辞(教)鬼形恵子

弓町本郷 辞(担)鬼形恵子

富坂キリスト教センター 辞(教)岡田 仁

北六甲 辞(主)森喜啓一

就(代)白井 進

安土 辞(代)横田明典

就(主)森喜啓一

同志社大学 辞(教)越川弘英

就(教)李 元重

板橋大山 辞(主)竹花和成

千葉本町 辞(担)森下 滋

八街西 辞(代)大串 眞

就(兼主)大串 眞

宇治大久保 辞(主)熊本絹江

若松浜ノ町 辞(主)熊本絹江

青年大会参加者募集中

《日本基督教団 青年大会2024》

- ◎日時 9月16日(月・休) 11時00分～16時30分
- ◎内容 礼拝・講演・交流会
分団(高校生／大学生／社会人)・全体会
- ◎場所 オンラインでもつながる全国6会場
札幌教会(北海道)、東北教区センター・エマオ(仙台)、三崎町教会(東京)、金城教会(名古屋)、茨木教会(大阪)、福岡中部教会(九州)
- ◎テーマ聖句 「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。」(ヨハネによる福音書15・5)
- ◎テーマ コネクトーなかま・イエスさまとつながる
- ◎メッセンジャー 野田沢(学生キリスト教友愛会総主事)
- ◎講師 久保哲哉(聖学院中学校・高等学校チャプレン)
堀岡満喜子(北陸学院学院長・中高校長)
- ◎開催の目的
1.信仰生活を送る者たちが、信仰を同じくする仲間と会うために、2.主イエス・キリストにある交わりを思い起こすために、3.青年大会が一つのきっかけとなって、各教区、地区において青年たちが主体となる集いが継続して開催されるために
- ◎対象
日本基督教団の教会とつながりがある青年／求道者
(※会場までの移動が難しい方は、必ず引率者を立ててください)
- ◎参加費 1,000円(昼食代)
昼食の内容は各会場で異なります。お楽しみに。
- ◎申し込み (8月末締)
<https://forms.gle/id43vf7HpDx5Ewn66>
公式WEB・SNS(UCCJ SENENで検索)
- 《献金のお願い》
青年への交通費補助のための献金を募ります。
*献金目標額 200万円
*振込先 ゆうちょ銀行(記号10080、番号58336771)
名義 日本基督教団
*問合わせ先 青年大会実行委員会
(uccjsenen@gmail.com)

熊谷 辞(主)大坪直史

辞(担)大坪園子

就(主)大坪園子

小金井西ノ台 辞(主)磯部理一郎

辞(担)磯部紀代子

就(代)竹前 治

信愛報恩会 辞(教)今村愛喜

就(担)今村愛喜

桜美林 辞(主)大谷隆夫

就(主)大谷隆夫

東梅田 辞(担)鄭 詩温

就(主)貴田直樹

境南 辞(主)貴田直樹

就(主)西恵理子

武庫之荘 辞(主)今泉信宏

就(主)貴田直樹

長崎銀屋町 辞(主)竹内款一

就(代)稲葉義也

名古屋中央 辞(主)草地大作

就(主)竹内款一

小樽 辞(主)竹内款一

就(主)小西陽祐

七飯 辞(主)鳴海としゑ

就(代)松本紳一郎

鶴方 辞(主)岡田はるみ

就(代)吉川 進

津示路 辞(主)池田慎平

辞(主)田中 知

就(代)茶屋明郎

辞(主)遠藤清美

大和榛原 辞(代)田中牧人

就(主)遠藤清美

関西労働者伝道委員会 辞(教)大谷隆夫

撰津富田 辞(兼主)大谷隆夫

就(主)大谷隆夫

東梅田 辞(担)鄭 詩温

就(主)貴田直樹

大阪生野 辞(担)吉村厚信

就(主)早川 真

大阪淡路 辞(主)山田有信

就(代)水谷 憲

常磐 辞(主)大川 清

就(主)山田有信

岩見沢 辞(主)佐藤幹雄

就(主)大川 清

久美愛 辞(主)鈴木佳子

就(代)熊江秀一

谷村 辞(主)小林 護

就(主)鈴木佳子

松代 辞(主)木原盛行

就(主)小林 護

坂出 辞(代)尾崎公明

就(主)田尻真介

津示路 辞(主)池田慎平

就(代)加藤幹夫

青森松原 辞(代)井垣勝男

就(主)池田慎平

大阪 辞(担)久保田拓志

就(主)森里信生

洛北 辞(主)久保田拓志

就(主)久保田拓志

宇治大久保 就(代)前川 裕

小石川白山 辞(主)竹島 敏

辞(主)竹島 敏

辞(主)早川 真

就(主)早川 真

就(担)坂元 高

就(担)坂元 高

聖隷クリストファー大学 就(教)仲 義之

就(教)仲 義之

山梨英和大学 辞(教)高橋 一

辞(担)高橋 一

京都 辞(主)生地善人

就(主)生地善人

高崎 辞(主)生地善人

就(主)生地善人

洲本 辞(主)生地善人

就(主)生地善人

浜松 辞(主)上原智加子

就(主)上原智加子

鉦路 辞(主)上原智加子

就(主)上原智加子

八幡鉄町 辞(主)松原 望

就(主)上原智加子

津示路 辞(主)池田慎平

戸畑 辞(代)松原 望

就(主)上原 誠

金沢元町 辞(主)大澤正芳

辞(担)大澤みずき

就(主)松原 望

米子 辞(主)野々川康弘

辞(担)野々川康弘

就(兼主)田中寛也

仙台青葉荘 辞(主)潮 義男

就(主)野々川康弘

就(担)野々川康弘

就(担)野々川康弘

九十九里 辞(主)南宮成一

就(代)郡司啓子

就(代)郡司啓子

城西 辞(主)飯島隆輔

就(主)南宮成一

ベテル 辞(代)中西康之

就(主)加藤陽一

明治学院大学 就(教)岡田 仁

就(担)中真原澄

就(担)中真原澄

内丸 辞(担)正井陽子

就(担)正井陽子

秋田飯島 辞(代)村尾政治

就(主)中原眞澄

就(主)中原眞澄

弘前西 辞(担)石川敏一

就(主)石川敏一

浪岡 辞(兼主)石川敏一

就(主)石川敏一

菊地一男 隠退より復帰

埼玉中国語 辞(代)小林 眞

辞(主)小林 眞

岩槻 辞(主)小林 眞

内灘 辞(代)井ノ川勝

就(主)有田典生

鳥羽 辞(主)有田典生

就(主)有田典生

石川 辞(代)石川栄喜

就(代)知花スガ子

教師隠退

長谷川洋介、大住 元、大塚信明、奥村益良、宮崎達雄、川真田正、法元聖親、高橋悦子、北 紀吉、長山信夫、中村光夫、延藤好英、高山清明、宮崎富男、小友絹代、春名康範、大田辰夫、益 敏、増田志郎、西田直樹、坂本雅紀、竹花和成、熊本絹江、磯部紀代子、磯部理一郎、森里信生、潮 義男、飯島隆輔、小林 眞、有田典生



会堂の前で、左から三番目が筆者

つ、单身ドイツに渡った夫牧師を物心両面で支え、自宅も帰国にあわせて購入しました。

このマンションは広さや交通の利便性もありましたが、選んだ最大の理由は「ジュネシオン」（若きエルサレム）という名前です。キリスト教徒の少ない日本で、聖書に基づいた名前の建物で教会活動がはじめられることに感謝し、教会名を「大島シオン教会」と決めました。

1979年、宗教音楽の研究を終えて帰国した松山興志雄牧師は、「この地で伝道しよう」との新たな志をもって、東京の下町である江東区大島一丁目の自宅マンションで開拓伝道を始めました。朝子夫人は、ミッションスクールに勤めつ

と定めました。1981年ペンテコステ礼拝後に「日本基督教団大島シオン伝道所」として教団に開所届を提出し、教会での礼拝が行われ、伝道が開始されました。

当時の礼拝の特色は、フランスのテセー共同体の礼拝を参考に、統一して、伝道を守り、心のこもった礼拝でした。同時にテセーの兄弟たちの協力、聖書研究会や語学教室が始まり、さらに地域伝道のために映画の上映会等が行われ、そこから救われた方もおられました。

その後、礼拝参加人数の増加、法律の



頼清徳新総統を迎えて

4月16、17日、台湾彰化市で開催された第69回台湾基督長老教会(PCT)総会。総会に出席した「総会」は18日まで。コロナ禍後初めて、ミャンマー、日本、アメリカ、韓国、インド、タイ、カナダ、マレーシアなど、海外の教会からの出席者を迎えての総会であった。

16日は開会礼拝の後、来賓の頼清徳新総統の来場を待ち(そのため総会会場には厳しい警護態勢が敷かれていた)、新総統が到着したところで、アメリカ(アメリカ長老教会)、日本(日本基督教団)、韓国(韓国基督教長老会)の各教会の代表者3名が挨拶をした。

その後、海外の教会からの出席者は、総会会場として使用された彰化基督教醫院の歴史、および、台湾におけるキリスト教宣教の歴史について学ぶ

(雲然俊美報)

伝道報告

七十二人は喜んで帰って来て、こう言った。…イエスは言われた。「あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」
ルカによる福音書第10章17節～20節

伝道推進室より応援した教会・伝道所

罪の告白と執り成しの祈りから

大島シオン教会牧師 勝山健一郎

21世紀に入り、牧師夫妻の高齢化で礼拝備品のセンターへの搬入が負担になってきたこと、隠退後の伝道継続の点から独立した礼拝堂を祈り求めました。多くの方々からの献金と牧師夫妻の不動産を売却した資産により、2004年6月6日、ペンテコステの日、債務なしで大島7丁目に会堂が与えられ献堂式をあげることが出来、今日に至っています。

礼拝の特色は、設立当初から毎週の礼拝で「罪の告白と祈り」を行っていることです。

週の初めに、先ず主の前で自らの罪を告白し、執り成しの祈りを捧げることから、その週の歩みができることは、教会にとっても、礼拝に集う人にとっても、霊的に満たされることと思っています。教職は松山牧師の隠退後は、森田好和牧師、現在の勝山健一郎牧師です。

地域伝道として行っていることは、「こころの友」を用いて、新設した掲示板に貼ったり、筒の中に入れて通行人が自由に取って読んだり持っていくように、と期待して行なっていることです。これからはミッションスクールの生徒さんや、地域におられる外国人が来られやすい教会にすることだと思っています。

第69回 台湾基督長老教会(PCT)総会 宣教の歴史を学ぶ

時間をもらった。それぞれ多くの資料や写真等が展示されている記念室において、丁寧な説明を聞いた。

17日は近隣の柳原基督長老教会を訪問し、台湾基督長老教会の歴史について学んだ。まず、17世紀以降のオランダ、スペイン、清王朝、そして50年に及ぶ日本の植民地支配の時代を経て、第二次世界大戦後の国民党政権下の状況から今日に至るまでの歴史の紹介がなされた。

そのような中で、ローマカトリック教会の宣教師の活動が始められ、続いて、1865年にイギリス長老教会の宣教師の活動(主に台湾南部)、1872年にカナダ長老教会の宣教師の活動(主に台湾北部)がなされ、台湾基督長老教会が形成されたとのことであった。また、同教会が、台湾人民の教会として、台湾原住民伝道と共に、台湾における正義と平和、人権の保障を祈り求めつつ宣教活動を行っていることが紹介された。

キリスト者であった伯母に誘われ、初めて教会に来たのは19歳。自分を温かく迎えてくれた教会は、小川さんにとって、ほっとすることのできる場所だった。ある日、牧師から声かけがあった。「もう一年以上、教会に通ったから、ぼちぼち洗礼を受けたらどうですか。当時、何の疑いもなく「そうなんだ」と洗礼の招きに答えた。23歳のイースターのこと。

その後、奈良高畑教会で結婚をし、3人の息子を授かり、子育てと仕事に追われる日々が始まった。礼拝は月に1回出席するのが精一杯であった。自分が教会に行けない時には、子どもたちだけで



小川富佐子さん

神さまに示されるままに



奈良高畑教会員

教会学校に参加していた。今当時を振り返って、子どもたちが教会の祈りの中で育てられたと実感している。

子どもたちが成人し、子育てに一区切りがついた頃、思い切って転職を決意した。日曜日は休みの職場に入職し、毎週の礼拝に出席することが叶った。その後、教会学校の教師を委嘱され、2019年には長老を任職された。

小川さんに、願いがあった。自宅を開放し、放課後、子どもと親の居場所を提供すること。コロナ禍の始まりと重なる時期であったが、毎月1回、放課後フリースペース「ゆる

現在「ゆるまな」に加え、中高生が参加しやすい月1回日曜夜の「よるまな」も開催している。礼拝に行ってみて、と思う子が与えられることを祈りながら、これからも神さまに示されることに従って歩みたいと願っている。

教会の役目は？

この時期、教団三役と総幹事が分担して各教区総会に赴き、各教会・伝道所等の様子を見聞きし、伝道の状況を把握することに努めている。

近年、多くの教会・伝道所が教勢および財政力の低下で苦しんでいる。このことは以前からの課題であったが、コロナ禍で一気にその傾向が進んでいる。コロナ禍はだいぶ落ち着いたが、教会ではなかなか礼拝出席者が回復していないのことに聞き、各教区では、懸命に教会相互の支援や教師謝儀互助等の

取り組みを進めている。そのような中で、ある教区において、以前のような伝道の取り組みができなくなっていることと悩み、あらためて教会は何のために存在するのか、教会の役目は何かを深く考えさせられているのことも聞いた。その教区総会でもたれた追悼式の司式をした牧師が式辞の中で、今年の1月に天に召された

同僚の牧師に、自教会の会堂修繕等の取り組みに一区切りついたことを話したところ、その牧師から、「君の役目は建物(を管理すること)か?」と問われた。このことを話された。たしかに、教会も牧師も、その務めについてはこれで一区切りということはない。主日ごとに礼拝をささげ、福音を宣べ伝え続けて行くのである。

伝道の困難さに直面しているすべての教会が、「教会の役目は?」と問われている。

(教団総会議長 雲然俊美)